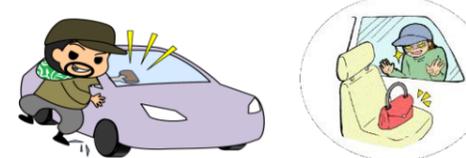
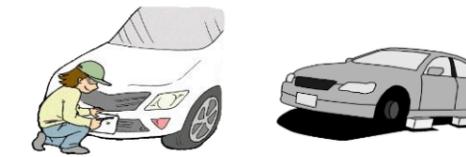


稲沢市内における身近な事件の発生状況

令和6年10月末時点（暫定値）

事件（被害）内容	発生件数（前年同月比）	犯行の手口	防犯対策例
<p>①住宅等に侵入される被害</p> 	<p>54件（+3）</p>	<p>・23件が空き巣被害 ・侵入場所の6割が「窓」 「空き巣」とは、家人等が不在の住宅に侵入し、金品を窃取する犯行手口です。</p>	 <p>CPマークのついた窓ガラスの導入や、窓ガラスに補助錠を設置するなどして家屋の防犯性能を向上</p>
<p>②車載品の盗難被害</p> 	<p>25件（-30）</p>	<p>・13件が無施錠での被害 ・住宅駐車場での被害が6割 車内に置かれた金品等を犯人は狙っています。</p>	 <p>車内に金品を置いて離れない 防犯ブザーの設置、防カメ等設置の駐車場への駐車</p>
<p>③車両部品の盗難被害</p> 	<p>22件（-2）</p>	<p>ナンバープレートや車両用バッテリー等の部品が被害 盗まれたナンバーは別の犯行に使用される可能性があります。</p>	 <p>ナンバープレート盗難防止ネジの取り付け、交換後のタイヤ等は施錠設備のある倉庫等に保管</p>
<p>④自動車の盗難被害</p> 	<p>16件（+6）</p>	<p>10月にスズキスペーシアが被害 県下では、ランクル（プラド含む）、プリウス、アルファード等が多く被害に遭っています。</p>	 <p>純正+aのセキュリティ対策（ハンドルロック、GPS等の秘匿搭載、イモビの追加）</p>
<p>⑤自転車の盗難被害</p> 	<p>178件（+2）</p>	<p>・128件（約7割）が無施錠での被害 ・駅駐輪場での被害が約5割 盗難自転車が、犯罪者の移動手段として使用され、別の被害を生む例もあります。</p>	 <p>ツーロックの実施、管理人がいる駐輪場等を利用</p>
<p>⑥振り込め等の特殊詐欺</p> 	<p>16件（+3） （令和5年発生総数16件） （令和4年発生総数7件）</p>	<p>9月にサポート詐欺被害が発生 息子を騙る手口、キャッシュカードを受け取りに来る手口、還付金名目など様々な手口に注意</p>	 <p>留守番電話設定の活用、防犯機能付電話の設置（詐欺の約8割が自宅固定電話への架電）</p>

備考1：令和5年の稲沢署管内刑法犯総認知件数875件（+81）、備考2：令和6年10月末時点の刑法犯総認知件数674件（-73）

過去5年間の交通事故分析結果



令和元年～令和5年までのデータに基づく、交通事故分析システムによる分析結果です。

分析結果

- ・人身事故は南大通り周辺で多発
- ・死亡事故は市内全域で発生
- ・死者の約7割が高齢者
- ・死亡事故の約7割が交差点で発生



令和6年の発生状況

10月末時点（ ）内は前年同月比

		稲沢署管内	
		月間	年間
人身	死亡	0 (±0)	2 (-1)
	重傷	2 (±0)	12 (-6)
	軽傷	26 (-18)	214 (-69)
	合計	28 (-18)	228 (-76)
物損		349 (-5)	3174 (+94)

備考 令和5年の稲沢署管内の死亡事故者数4名

人身事故多発時間

- ・ 7時～8時
- ・ 17時～18時

人身事故多発地域



○ 枠内

死亡事故発生場所



× 印地点

事故防止のポイント

【ドライバー】

- ・ 早めのライト点灯、ハイビームの活用
- ・ 「かもしれない」運転の心掛け



【自転車】

- ・ 一時停止、安全確認の徹底
- ・ ヘルメットの着用



【歩行者】

- ・ 無理な横断をしない
- ・ 明るい服装、反射材の活用



交通違反を犯さないことが、交通事故の防止につながります。



横断歩行者妨害



一時不停止



信号無視



自転車の違反

